

かんしょトップ産地「なめがた」における 儲かるかんしょ経営体の育成

鹿行農林事務所行方地域農業改良普及センター

当管内は、JA なめがたしおさいの甘藷部会が農林水産祭で最高位となる天皇杯を受賞し（受賞当時は「JA なめがた」）、「行方かんしょ」が農林水産大臣により GI 産品として登録されるなど、国内トップクラスのかんしょ産地として高い評価を受けています。こうした中、普及センターでは産地の更なる発展を目指し、輸出拡大の取り組みや新品種の導入等の支援を行うことで、かんしょ経営体の販売金額向上を図りました。

かんしょ輸出拡大支援

かんしょ輸出拡大のため、JA なめがたしおさい甘藷部会内に発足した GAP 部に対して勉強会の開催や模擬審査を実施し、帳票作成や作業環境改善指導を行いました。その結果、当該組織は国際規格 GAP である ASIAGAP の団体認証を取得し、同認証を活用することで R6 に約 50t、R7 には約 100t のかんしょがカナダに輸出されました。



図1 ASIAGAP 団体認証を取得した GAP 部メンバー



図2 塊根形状が優れる「栗かぐや」

新品種「栗かぐや」の導入・普及

肉色が鮮やかな黄色で塊根形状が優れる新品種「栗かぐや」を産地へ導入するに当たり、栽培試験を実施して最適株間、挿苗時期及び収穫時期を検討しました。得られた結果を基に生産者への栽培指導を実施したところ、同品種の作付面積は R5 の約 14ha から R7 には約 90ha となり、6 倍以上に拡大しました。

「行方かんしょ」PRによる 1 経営体当たりの販売金額向上

上記2つの取り組みに加え、市場での仲卸業者等を対象とした勉強会やスーパーでの販売促進活動において、当産地の味にこだわったかんしょ生産・出荷の取り組みを産地と協働して PR しました。これらの活動により「行方かんしょ」のブランド力が向上し、JA なめがたしおさい甘藷部会 1 経営体当たりの販売金額は、R5 の約 2,000 万円から R7 は約 2,300 万円に向上しました。

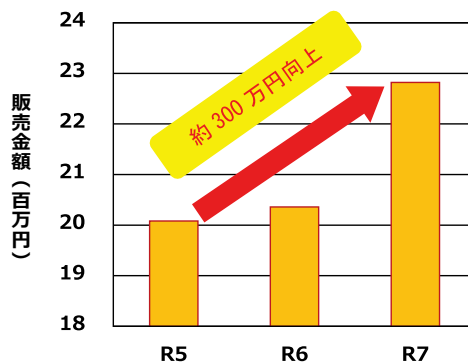


図3 JA 甘藷部会 1 経営体当たりの販売金額推移